

Case 3) 70歳代 女性

標的病変: 右SFA long CTO病変

診断名: 閉塞性動脈硬化症 (Rutherford 3)

冠危険因子: 糖尿病、高血圧症

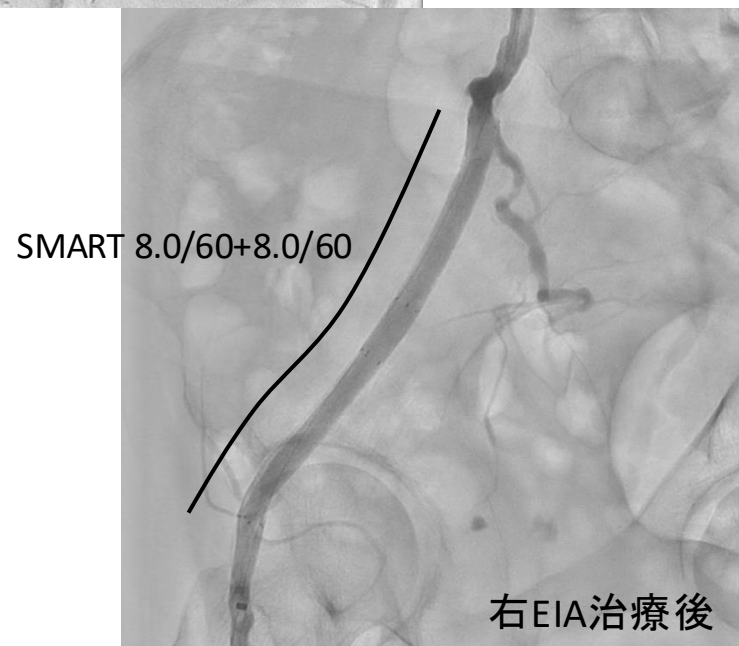
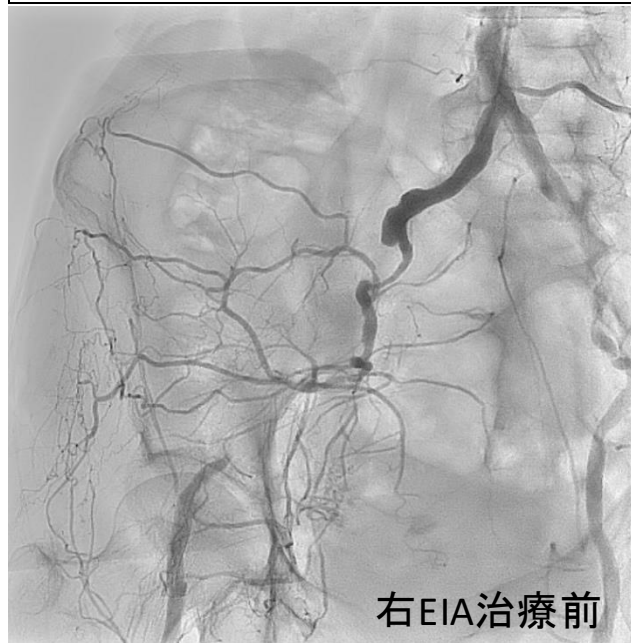
現病歴: 2024年7月に右足背潰瘍と両下肢間欠性跛行で紹介。右EIAと両側SFA閉塞を認め、2024年10月右EIAにEVT (SMART 8.0/60+8.0/60mm) 施行。潰瘍治癒し、跛行症状も改善したため、薬物運動療法を継続していたが、2025年5月頃から左下肢優位に間欠性跛行悪化した。2025年6月左SFA-Pop.AにEVT (Lutonix 6.0/200+5.0/200mm)。右下肢間欠性跛行が残存しており、右SFA CTOに対しEVT予定。

ABI rt 0.66, lt 0.82

Cre 0.63 mg/dl、eGFR= 68.3 mL/min/m²

Case 3) 標的病変: 右SFA long CTO病変

2024/10/24



BK